

# 鯨日和

vol.3 Take Free  
Namazu Biyori

家と暮らし 03 「完成しない」を楽しむ家

職人日和 タイル職人 白石 普<sup>あまね</sup> / 木の話 鯨組 岸本自邸 “木の家づくり”



# 「完成しない」を楽しむ家

鯨組建築事例



田中英一さんは家具作家です。無垢の木を使って、オーダーメイドで家具や食器をつくっています。2009年には離乳食用の木製さじ「ファーストスプーン」が第3回キッズデザイン賞を受賞した、腕利きの作家さん。今回お邪魔したのは、奥さまと3歳になるお子様、数名のお弟子さんがいらっしゃる「工房兼アトリエ兼自宅」です。埼玉県所沢市、狭山湖のすぐ近くに、2010年4月に完成しました。木の家具づくりに情熱を燃やす田中さんが、木の家づくりを使命とする鯨組と、どんな風にも、何を考えながら建築を進めてきたのか。日本のものづくりの将来像まで見えてくるような、そんなお話をたくさん聞くことができました。





どれだけ未完成な部分を残しておけるか。 | 田中英一さんインタビュー

Q・本当に素敵なお家ですね。ここに家を建てようと思った理由からお聞かせいただけますか。

以前もわりと近いところに住んでいたんですけど、こんな場所があるなんてまったく知らなくて。土地を見に来た時は春先だったんですが、花がきれいで、うぐいすの鳴き声もあちこちから聞こえてくるんです。この環境なら、駅から遠くてもお客様もおもしろがって来てくださるんじゃないかな、と。正解でしたね。

Q・家づくりでこだわったのはどういった点ですか？

どれだけ未完成な部分を残しておけるかってことですね。あとでいろんな触り方ができるように、細かい作り込みはあえてしてもらわなかったんですよ。僕らも年をとりますし、住んでる人間も変わってくるかもしれない。ライフスタイルに合わせて家も変化させたくて、遊びがきくような構造にしてみました。自分たちでつくれるところはやるし、鯨さんにもお願いすることもある。窓のひさは先日つけていただいたんですよ。

Q・全部任せるのでもなく、自分たちだけでもなく、一緒につくっていくという感覚ですね。

ええ、お互いに案を出し合いながら。たとえば、元々僕らはそこまでこだわりはなかったけど鯨さんがこだわってくださったのが、大工さんの手刻みの梁と柱。結果的にはとても良かったと思います。工場で一律にカットされた木

材じゃなくて、使う場所や状況をひとつずつ確認しながら木を調整してくれて。すごく思い入れを持ってつくってくれたんだなってことを目の当たりにしたので、そこへの感謝の気持ちはずっと残るような気がしています。

Q・家具づくりも似たようなところが？

50年生きてきた木を使うのなら50年、1000年なら最低1000年、できればその倍ぐらい家具としても長持ちしてほしいと思いつくります。そのためには誰かが手を加えたりメンテナンスしながらじゃないと無理ですよ。そうすると、やっぱり最初のつくり方ってとても重要で、愛着もって使っていくには欠かせないプロセスだと思います。僕らにとってはそれが、手刻みの木材だったのかもしれない。

Q・実際に家具づくりをされる時は、どういったプロセスで進められるのでしょうか。

たとえば誰かにプレゼントしたいというオーダーであれば、相手の生い立ちからプロフィールまでいろいろお聞きします。出身にまつわる木があればそれを使ったり、その方の生きてきた物語をものに落とし込む感じかな。すごく根気がいる作業ですけど、そこまでやれば、ただつくるだけとはまったく違うものになってくるんですよ。

最近保育園や幼稚園からの依頼が多いんですが、子どもたちにも大人に育ってもらいたいところからデザインを練って、その後に構造をつくり始めます。

Q・つくって終わりではないんですね。使う人の未来まで見据えておくという・・・

そうですね。家も家具も同じだと思います。本当に大事なものは、



鯉の絵が飾られている1階の天井。木材に入った割れ目は、木材が天然乾燥材である証拠。



田中さんの仕事スペース。使用されている椅子やテーブルはもちろん、田中さんの手作りだ。(※現在改装中)

できあがった時じゃなくて、使い始めた後なので。あ、そういう意味では、住み始めてから「この家は生きてるんだな」ってすごく実感するんですよ。冬になると木が乾燥してびびびという音が聞こえたりして。これもまた味わいだなあって。

Q・そういったところも、未完成の良さなんですね。

1階の天井には鯉の絵をかざってあります。今ある3枚はすべて、オープンハウスの時にプロの方に描いてもらったものです。これからは、新しくイラストレーターさんと知り合えば依頼していきたいと思っていますが、これ、きっと僕が生きてる間に完成しないんですよ。うん、完成しない。未完成だからこそいろいろな想像を広げることができる、それが僕は楽しいんです。

Q・長く住んでいくために、メンテナンスで気をつけていることはありますか？

あれっと思つたらすぐ鯨さんに電話します(笑)。本当に、そこで遠慮しない方がいいと思うんですよ。家具も同じですけど、遠慮されてちゃんとしたメンテがされず、状況が悪化するっていうのがいちばんダメなパターン。お手間はかけちゃうかもしれないですけど、早い段階で専門家に相談することにはしています。遠慮なく電話できるから助かっていますよ。

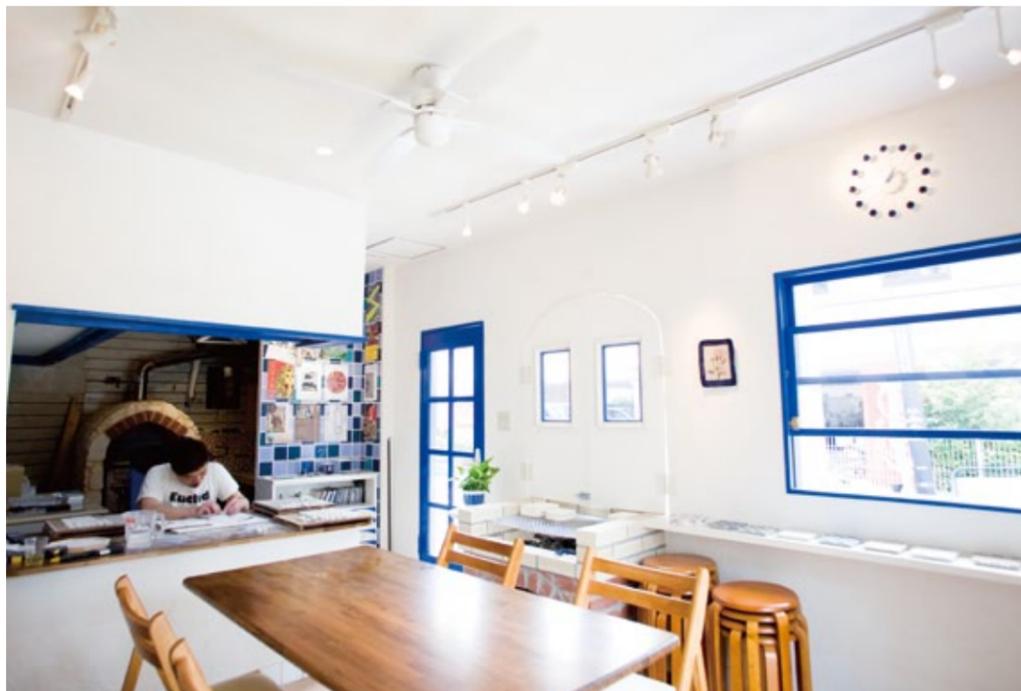
Q・これから家を建てる方に、なにかアドバイスがあればお願いします。

偉そうなことは言えないですが、うーんそうだなあ。あの、家は3回建ててみないと分からないって言いますよね。ある意味で真実なのかもしれないけど、ちょっとパプルの頃の話とか、現実的じゃない。だからやっぱり、長い目で付き合えるようなものをつくり方を、考えてみるのもいいんじゃないでしょうか。古くなったら壊して建て直すっていうだけじゃなく、僕らのように箱をまず建てて、中を生活スタイルに合わせてつくっていくのもありだし、小さな箱を少しずつふくらませていくのもいいだろうし。次の世代に責任もって渡せるように、先を見越した考え方を大事にしたいと思いますね。

(文・下出 裕典)

# 職人日和

木の家づくりの現場を支える、  
職人の素顔をご紹介します



## モロッコから持ち帰った 美意識

タイル職人 白石 普

西武新宿線鷺ノ宮駅を降りて徒歩7分、昔ながらの商店街と住宅が建ち並ぶ路地を抜けた先に、小さなアトリエが姿を見せる。迎えてくれたのは、あるじの白石 普（しらいし あまね）さん。タイル職人だ。アパレルショップやレストラン、こだわりの住宅等で使用するタイルの制作・施工を主に手がけている。粘土を主原料とするタイルは防火性、防水性ともに優れた天然素材であり、デザインや釉薬の工夫次第で無限の表現が可能となる素晴らしい建材だ。職人の腕次第で、素材にも、モダンにも変化する。

「駆け出しのタイル職人として働き始めた頃、もちろん楽しかった。夢が叶ったわけですし、新しい技術も吸収できて、多くの発見もありました。ただ、どれだけ修行を積んでも、行き着くところは1日にどれだけ多くのタイルを貼れるかという数の競争。でも僕は、単なる量産じゃなく、自分しかできないタイル貼りを提案したかった。そんな思いが日に日に強くなっていた時です、モロッコと出会うのは」

知人に借りたあるTV番組の録画ビデオ。モロッコのモザイク工房特集だった。大きな、大きな衝撃を受けた。こんな複雑な幾何学模様がタイルで再現できるものなのか、割付けは一体どうやっているんだ……。3ヶ月後には、モロッコ

へと向かう飛行機に白石さんの姿があった。もちろん言葉なんて分らない。奥さんと家族を始め、多くの人の優しさに触れながらの、2年間の留学生活がスタートした。「日本でタイルといえばだいたい形は決まっていますが、むしろではそうじゃない。タイルをいろんな形に加工して、工房で逆さまに並べていくんですよ。そこにセメントを流してパネル化する。そうしておいて、現場ではほとんど時間をかけずに施工するんです。プレキャスト工法と言うんですが、日本での工法が始まったのは戦後数十年たってから。それをモロッコでは1000年前からやっていたって言うんですから、すごいなと思うと同時に、日本の職人としては悔しくもありましたね。絶対にこの技術をものにするんだと、意気込んで行きました」

木造建築で発展してきた日本とは異なり、石造りの建物が多いヨーロッパにおけるタイル文化は長く、深い。日本でも法隆寺に「敷瓦」として床に並べられるといった例はあるが、壁貼りやインテリアとして使用されるようになったのは、明治維新の後になってからのことだ。4650年前前に建てられたピラミッドの内部にもタイルが貼られていたという「世界のタイル文化」に、白石さんが憧れたのも納得できる。

モロッコで存分にモザイク文様や施工方法を学び帰国した白石さんの元に、その腕を披露してほしいという依頼が舞い込んできた。初めはモロッコのタイルを輸入して使おうと考えたが、実際にタイルに触れてみて、このままでは日本で使えないと気づいたのだという。

「モロッコのタイルは水をたくさん吸ってしまふ。焼いている温度が低いんです。向こうは気温が高いからそれでいいのですが、日本ではこれだけ水を吸ってしまうと、冬には凍ってタイルごと割れてしまふ。タイルの裏側の土の状態を見れば、だいたい何度ぐらいで焼かれたものか、どれぐらいの水分を含んでいるかは分かります。日本でも使える、納得のいく品質のタイルを多数確保するとすると、もう自分で焼くしか



ないと思っただんです」

陶芸家であった父のアトリエを借りて、8000個のモザイクタイルを制作した。体力的にはきつかったが、その分やりがいが大きかった。それまでの20年間、職人としてタイルを「貼る」ことに専念してきたが、やはり自分で「作る」ことはかけがえのない体験だった。自分のアトリエを持つ。決意したら行動は早いのが白石流だ。場所も決まり、毎晩のように通い詰めてアトリエを作り上げた。ブロック積み、タイル貼り、大工や左官の仕事も自らやっていた。こうして2011年の11月に完成したが、冒頭で紹介したアトリエである。まるで地中海にでも迷い込んだような鮮やかなブルーと白が特徴的な建物だ。

「アトリエを持つて、気づいたことがあるんです。僕は職人だから、タイルは建物の床や壁に貼るものだとしか考えていなかった。ところが、現場で余ったタイルを使って制作したコースターやマグネットが思いのほか好評で。僕としてはタイルのサンプル代わりぐらいの気持ちだったのですが、これを売ってほしいという声もいただくようになりました」  
今でも、施工現場が白石さんの主戦場であることに変わりはない。だが、現場仕事を終えた後、夕方6時から夜の11時頃まではアトリエで創作活動に没頭する姿を見ることがある。

「翌朝も現場に向かうために、5時には起きます。よくやるねって言われますよ（笑）。だけど、僕にとっては作らないことの方がストレスなんです。いろんな経験も積んできましたし、肉体的には今がピークだと思うから、やれることはすべてやっておきたい。喜んでくれる人もいるし、なによりタイルが好きなんです」

ほとんど趣味みたいなものだと思われがちですが、きつと3年後5年後には、建物だけでなく家具やインテリア等さまざまなシーンでmade by Amane Shiraiishiのタイルと出会うことができるだろう。

### タイルのつくり方



「ちょっと水分が多いかな…」とつぶやきながら、粘土を均一に練り上げていく白石さん。



あらかじめ作っておいた石膏型に粘土をつめていきます。左手に持つヘラも白石さんの手づくり。



石膏型から取り出し3日ほど乾燥させた直後が右側。その後ヤスリで磨き上げると左手前のような美しい星形になります。



ひとつひとつ、釉薬を塗って色付けします。写真は、今回のイベント用にアメリカから取り寄せた貴重な釉薬。



取材時はおおよそ1000度だった窯。今回使用する信楽産の粘土を実際に焼き上げる時は、1250度まで上げるのだそうです。

# 木の話

#3

## 鯉組岸本自邸“木の家づくり” すべてお見せします

学生時代から大工として家づくりに携わり続けて約13年。鯉組代表岸本がついに念願の自邸を建てることになりました！そんな喜びに浸る岸本の家づくりを鯉日和は完全にレポートしていきたいと思ひます。自邸を通じて、木の使い方、木の良さ全てをご紹介します。

### 岸本家家族構成

岸本耕：鯉組代表、私生活では2児の父  
趣味の茶道を楽しめる茶室がほしいと思っている。  
岸本嫁：ふんわりした見た目ながらも、しっかり者の奥様。  
流行に敏感で、キッチンに強いこだわりを持っている。  
長男：絵が上手なしっかり者の小学4年生。  
長女：おしゃれで明るい年長さん。家ができた頃には1年生に。



### どんな家を作りたい？

「東京という狭い土地柄と、家族のニーズを考えると夢の平屋建ては将来に取っておこうと思います。ですが、地下室の有効活用や、狭いながらも木の良さや坪庭を楽しめる家づくりなど、家づくりを楽しみたいと思ひます。「土地の狭い都会ならではの木の家づくり」の実験ができるみたいでワクワクしています。実験なんて言うと家族に叱られそうですが…」

### 自宅に使いたい！今月のおすすめ材木

「杉」  
杉は最も求めやすい材木でもあり、最も高級な木でもあります。杉は戦後最も多く植林された針葉樹で、安価で流通しています。ですが、「杉の白太普請」と言って、杉の白太の部分だけを使った和室は最高級とされています。大工としては、柔らかい木であるためにカンナをかけても綺麗に仕上がりにくく、手強い相手でもあります。おそらく自宅でも杉は活躍してくれるでしょう！

### 現在の状況

土地も決定し、地盤調査、地鎮祭が終了しました。地鎮祭とはその土地の神（氏神）を鎮め、土地を利用させてもらうことの許しを得るお祭りのこと。この日は天候にも恵まれました！



ちなみに岸本自邸はこんな土地です。



## 暮らしの知恵袋

### 東京の夏野菜編

夏を乗り切るために大切なことは、暑さに負けない健康的な体づくり。そして夏の健康に役買ってくれるのが「夏野菜」です。鯉組の事務所からほど近い練馬区では、たくさんの方が残っており、無人販売所も充実しています。そう、ここは池袋から電車ですぐに行ける野菜天国なのです。今回はそんな練馬区で取れるおいしい夏野菜をご紹介します。

まずは「トウモロコシ」。黄金に輝くツブツブはもはや夏の風物詩です。収穫時期は8月、暑い夏の夜に茹でたトウモロコシとビールで涼やかに乾杯なんていかがでしょうか？甘いトウモロコシはお子様のおやつにもピッタリです。

9月に収穫できるのは、おなじみ「練馬大根」。辛みがあり味もしっかりしている「からみ蕎麦」にするのもおすすめ。大根おろしと冷たいお蕎麦が、残暑を乗り切る力をくれます。

最後にご紹介するのは「ぶどう」。練馬区は実は隠れたぶどうの産地でもあるのです。生産されているぶどうは「高尾」という品種。東京の農地なので生産面積も少なく、流通量も限られています。予約販売や農家の直売所で完売されています。そのため「幻のぶどう」と呼ばれているそう、うーん食べてみたい！こちらは8月から収穫されるそうなんです。

作物は収穫されたその土地の土や空気を吸い込んで大きくなります。おいしいものを遠くから取り寄せるのも良いですが、近くで収穫された野菜も、風土や気候に合っていて、おいしくいただけるのではないのでしょうか。そして、東京にもとれたての新鮮野菜が手に入る場所が残っているのです。この夏は買い物袋を片手に、東京の新鮮野菜を仕入れに行ってみませんか？

※農作物の収穫時期は天気やその年の気候に左右されます。

## 今月の床の間

### 突坂忍冬・桔梗・乙女百合・石芋・虎の尾

浅井宗兆宗匠

みちのくの銀龍草繪賛  
平成5癸酉歳水無月 津軽十二湖の山路にて

この花の幽玄妙なる姿に神なせるわざ見え三十一文字詠むも  
そらおそろしき心地待れどその幽玄を写し感歎なれど

銀龍とその名いだけこの花に 造化の神のこころをぞみる  
深山路に分け入れれば幽かなる ひかりをみする花ぞこのはな  
山深くたずねあてたる此花の 妙なる姿おもほゆる人  
めぐり逢いし幽かに咲けるこの花にとし 波こえて想いしほ

津軽十二湖の山路にて「銀龍草」という珍しい植物に出会い、  
紅心宗慶宗匠は感動のあまり三十一文字も歌を詠みました。

書 紅心宗慶宗匠

# 鯨日和が読めるお店

設置協力店のご紹介 (五十音順)

1 コーヒーからウイスキーまで  
Tide pool coffee (タイドプールコーヒー)



東京都豊島区池袋  
3-1-12  
三恵池袋ハイツ 1F  
03-5954-0556

営業日  
月 9:00-17:00  
火・木 9:00-23:00  
金 9:00-25:00  
土 11:00-25:00  
日祝 11:00-23:00  
不定休

2 パン生地が自慢!  
パン工房 MERUN (ぱんこうぼうめるん)



東京都板橋区幸町  
19-3  
03-3530-5567

営業日  
9:00-20:00  
日曜・祝日定休

3 タイル好きが集うアトリエ  
EUCLID (ユークリッド)



東京都中野区鷺宮  
3-45-7  
090-4739-6890  
shiraishi@tileworks.jp

営業日  
不定期オープン  
見学希望の方は  
お電話または  
メールにて  
ご連絡ください。

貝の小鳥 (かいのこどり)  
東京都新宿区下落合 3-18-10 03-5996-1193  
11:00-18:00 火曜定休

COSTA DEL SOL (コスタデルソル)  
東京都豊島区南長崎 1-24-1 03-5988-0973  
12:00-20:00 (LO) 木曜 第3水曜日 定休

Cafe Suginoco (カフェスギノコ)  
東京都豊島区南長崎 3-40-14 03-6908-0778  
10:00-17:00 日・月・祝日定休

Chabo Scapestrare (チャボスカペストラレ)  
東京都豊島区南長崎 1-24-4 1F 03-3954-3367  
11:30-21:30 火曜定休

花よるず  
東京都豊島区目白 3-12-27 03-3954-4915  
10:00-19:00 月曜定休

目白庭園 (めじろていえん)  
東京都豊島区目白 3-20-18 03-5996-4810  
9:00-17:00 (7・8月は19:00まで赤鳥庵は21:00まで)  
第2・第4水曜日定休 (祝日・年末年始は翌日、年末年始休み(12/29-1/3))

雑穀おにぎり専門店 目白ファーム  
東京都豊島区目白 3-17-29 03-5982-4043  
9:00-17:00 日曜・祝日定休

LUNCO (ランコ)  
東京都豊島区目白 3-14-8 1F 03-3954-3755  
12:00-19:00 年中無休 (夏・冬休み有)

ROOM ART MATSUI (ルームアートマツイ)  
東京都品川区二葉 3-22-2 03-3781-5080  
10:00-19:30 水曜定休 水曜日が祝日の場合は営業いたします。

## 設置協力店が鯨組ホームページから検索できるようになりました

1 インターネットで「吉川の鯨」を検索  
(サイト URL: <http://www.yoshikawano-namazu.com>)



2 吉川の鯨トップページから  
鯨組トップページへ移動



3 お好きなエリアのアイコンをクリック  
お気に入りのお店をみてください



過去の鯨日和の  
ダウンロードも  
可能です

設置協力店の紹介は鯨組のブログや FACEBOOK でも  
行っていきます。皆様是非こちらもチェックしてみてください

FACEBOOK <http://www.facebook.com/namazugumi>



BLOG <http://ameblo.jp/yoshikawano-namazu>



# ナマズのおすすめ

「鯨日和」は、鯨組が「このお店は素敵!」と思ったお店に直接お伺いし、設置をお願いしております。  
このコーナーではその中から4店を毎回クローズアップして紹介していきます。



昔ながらの製法でつくる食パン、チーズフォンデュパン、デニッシュ、トトロパン(キャラクターパン)。「町のパン屋さんってこうだよなあ...」  
パン工房 MERUN は東武東上線「大山駅」から徒歩約10分、板橋区幸町商店街の入り口に位置するパン屋さん。昭和64年からこの場所で「地域の方に毎日食べてもらえるおいしいパンを。」という気持ちでパン生地にこだわって焼き続けてきた。「天然酵母パンもやったことがあるんですよ、でも値段が高くなってしまったからやめたの。高くても毎日食べられないパンよりも、地元の方に毎日食べていただけるおいしいパンを作ろうと思って。」言葉の端々から地元への愛が伝わってくる。  
取材の翌朝、売れ筋だという食パンを食べてみた。「焼く前にパン包丁で切って、トーストするのがおすすめ!自分で切ると、表面がギザギザになるからバターがしみ込むの。」アドバイスの通りバターを塗って一口、優しい味が口いっぱいに広がる。地元の人のために作られた味は、やわらかくてほっとする味だ。



パン工房 MERUN (ぱんこうぼうめるん)

東京都板橋区幸町 19-3 ☎03-3530-5567  
営業時間 9:00-20:00 定休日:日曜・祝日定休



有楽町線・副都心線「要町駅」5番出口すぐの場所に Tide pool coffee はある。別のカフェで働いていた仲間同士が集まって、要町に店を開いた。「前は学生街のカフェだったので、学生向けというのが明確でした。でも要町は、とにかく色々な人が来る。お子様連れのお母さん、学生、仕事帰りの社会人...それに合わせてメニューも常に考え続けています。おいしいものが出来たら臆さずメニューに並べる、お客様の反応を見る。そうやって試行錯誤を繰り返すことがおもしろいんです。」試行錯誤の末に生まれたチーズケーキのレシピは実に100種類以上!食事メニューも充実しており、どんな時間に行っても満足できる。夏にはスムージーが登場するというのも楽しみだ。また、実はここは隠れたウイスキーの宝庫でもある。帰宅前にウイスキーを1杯...好きな人にはたまらない。朝食から晩酌まで、何時に行っても欲しいものがある。「タイドプール・潮だまり」の名の通り、いつまでも溜まってしまいそうなカフェだ。



Tide pool coffee (タイドプールコーヒー)

東京都豊島区池袋 3-1-12 三恵池袋ハイツ 1F ☎03-5954-0556  
営業時間 月 9:00-17:00 火・木 9:00-23:00  
金 9:00-25:00 土 11:00-25:00 日祝 11:00-23:00 定休日:不定休

## 設置協力店からのお知らせ

atelier bemstar  
(アトリエベムスター)



●8月から営業時間が変わります。  
平日は16時から24時まで、土日祝日は12時から24時までです。  
●イベントと展示のお知らせ  
8/4 thinking '00 electronica back to '90 techno & electronics (19時から)  
8/11~18 selfpleasure 展 (仮)

どちらも入場無料です。  
お近くに起こしの際は、ふらっとお立ち寄り下さい^^

住所 東京都豊島区池袋 4-26-11  
中本ビル 001  
電話 03-5950-2780  
営業日 平日 16:00-24:00 土日祝 12:00-24:00

グルメバーガー  
EAST VILLAGE  
(イーストビレッジ)

サプライズバーガー予約販売しております!重さ1.2kg、高さ20cm、約5人前の超巨大バーガー。お誕生日やパーティなど、特別な日におススメです!要予約です。お問い合わせの際は担当の古川宛にお電話ください。



約5人前で  
¥4000  
おトクです

住所 東京都豊島区東池袋 1-13-1  
柴町通り  
電話 03-3981-9177  
営業日 11:30-22:00 年中無休

愛媛のアンテナショップ いよかん



●イベントと展示のお知らせ

池袋西口に展開する「新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館」(2012年7月26日から8月8日)で愛媛の誇る磁器「砥部焼」展を開催します。  
お散歩ついでに気軽に立ち寄りください。  
●最近の売れ筋商品のご紹介  
6月18日と25日の「鶴瓶の家族に乾杯」で紹介されました愛媛県西条市産瀬戸内海の干しエビ、そして流行りの塩麹使い切りサイズ ぜひお試しください!

住所 東京都豊島区池袋 2-23-9 岸野ビル 1-B  
電話 03-6303-3577  
営業日 10:30-18:00 日曜定休

絵本の古本と木のおもちゃ  
貝の小鳥



貝の小鳥は、目白通り裏の骨董通りにある絵本の古本と木のおもちゃの店です。  
約3000冊の古本は、絵本・児童文学・洋書絵本・詩・エッセイ・美術書など。  
木のおもちゃは、プレゼントにもぴったりのヨーロッパを中心とした安全性の高い商品を取り揃えています。その他にも、アロマオイルやハーブティ、アンティークのおもちゃなど、子供だけでなく大人も嬉しいものがいっぱい。静かな空間で、ゆっくりと、絵本に囲まれた世界をお楽しみください。

住所 東京都新宿区下落合 3-18-10  
電話 03-5996-1193  
営業日 11:00-18:00 火曜定休

## こんにちは、建築事務所「鯨組」です。

鯨組では「日々の暮らしを楽しくするちょっとした仕掛けづくり」を合言葉に、木の家づくりを、設計・施工一貫して行っています。この「鯨日和」も、「日々の暮らしを楽しくする仕掛け」となるよう、自社の紹介だけでなく、近隣のお店を紹介したり、生活の知恵を紹介したり読み物としておもしろいフリーペーパーを作っていこうと考えています。この「日々の暮らしを楽しくする仕掛け」が、たくさんの方の手元に届き読まれることが私たちの願いです。

「鯨組」という名前は、私たちが最初に建てた家「鯨の家」に由来します。「初心を忘れず」という思いが込められています。

### 鯨組からのお知らせ

#### ① 参加者募集「鯨の家相談会」を開催いたします

鯨組のつくる家ってどんな家？  
ハウスメーカーとの違いって何？  
国産材にこだわった家づくりって可能なの？  
鯨組の家づくりの考え方や、施工事例をご紹介します。また皆様からの質問にもお答えいたします。家づくりに関して疑問に感じていることを是非お気軽に相談してください。

日時：2012年9月15日(土) 10時～12時  
場所：鯨組事務所

完全予約制となっておりますので当社までメールまたはお電話でご予約ください。相談会后、ご希望の方は個別相談も受け付けます。

#### ② 参加者募集 2012年秋「木を見る・学ぶ・楽しむツアー」 製材所見学バスツアー

秋のレジャーに、製材所を訪ねてみませんか？  
オグラさんは代々天皇家から木材・森林のすべてを任されていた「木地師」と呼ばれる家系。山深い会津の土地で代々製材所を営んでいらっしゃいます。  
オグラさんによる木のお話をはじめ、製材見学や、良質な材木や木の家具日用品のショッピングまで盛りだくさん。大人も子供も楽しんでいただける内容になっています。  
ツアーに参加していただき、ぜひ福島県の自然やそこで生きる人や材木の優しさに触れてみてください。

※福島第一原発事故以降、風評被害を受け続けている福島ですが、鯨組がお世話になっている「オグラ」さんの位置する南会津郡の放射能レベルは東京と変わりません。



大きな丸太が製材されていく様子は大迫力です

日時：10月27日(土)  
詳細はブログ・ホームページ・FacebookにもUPいたします。ぜひご確認ください。不明な点はメールにてお気軽にお問合せください。

#### ③ 鯨組事務所1Fのカフェなんてん cafe がリニューアルオープンいたします

鯨組事務所 & なんてん cafe がリニューアルオープンいたします。(2012年8月末予定)

● 耐震補強 & cafe 機能の充実  
キッチンも1Fに設置し、スタッフの顔の見えるお店にしました。キッチンが1Fに来ることで壁が増え、より地震に強い構造になります。  
● 練馬の野菜を使ったメニュー  
新鮮な野菜を新鮮なまま入荷・ご提供できるよう、練馬区の旬の野菜を積極的に使用したメニューを充実させました。  
新しくなったなんてん cafe ではこれまで以上に食事や、地域のおいしいものとの出会いを楽しんでいただけます。オープン日はHP・鯨組ブログ等でお知らせします。ぜひ一度足を運んでみてください。  
鯨組に関する情報はHP・ブログ・Facebookからもご覧いただけます



Facebook <http://www.facebook.com/namazugumi> Facebook から「なま子」を検索してください  
HP <http://www.yoshikawano-namazu.com> インターネットから「吉川の鯨」を検索してください  
ブログ <http://ameblo.jp/yoshikawano-namazu> インターネットから「鯨組」を検索してください

人と人の繋がりを大切に、「楽しくらす」ヒントを共有していきたい。  
鯨組では、様々なイベントを開催しています。

鯨組へのお問い合わせ 広報担当 / 大石真理子

TEL : 03-5986-1081 mail : office@yoshikawano-namazu.com

月～金 8:00～17:00 (時間外対応できる事もあります)

購読を希望されます方へ  
電話・ファックス・Eメールいずれかでお申込みください。  
年間購読料0円、発送費のみご負担いただきます。  
※当店もしくは設置協力店では無料でお配りしております。

